

情報交換会

「しっかり手洗い With コロナ」

7月13日(火)に辻堂市民センターにて、「感染症に対する手洗いの重要性」について貴重なお話を聞くことができました。新型コロナウイルス感染症が広がりを見せている中、「手洗い」が更に見直されています。

まずは、普段の私達の手洗いで、どれ程きれいに洗えているかの実証をしました。

参加者全員がいつものように手洗した後、汚れがわかるブラックライトを当

てて見ると…。指の間や爪のまわりなど至る所に汚れが残っていて驚きました。

そこで正しい手洗いの仕方を丁寧に教えていただき、いかに洗えていないかを実感しました。

データによると、手洗いなしたと残存ウイルス数は約100万個。ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返すと約数個まで減らせるそうです。

その他、手指消毒・清掃、ノロウイルス、下痢や嘔吐時の対応などについても教えて頂き、大変勉強になりました。

講演会

「くっきの授業 く化学物質過敏症(CS)とはなんだろう？」

2月20日(日)辻堂市民センターにおいて、高浜地域子ども支援会議、ネットワーク湘南堂夢との共催で、北鎌倉女子学園学園長の柳沢幸雄氏より、私たちが一日中摂取する「空気」が原因で発症する「化学物質過敏症(CS)」をテーマとした講演会が行われました。

特に印象的だったのは、空気に含まれる「化学物質」が吸う人の許容範囲を超えた時に突然発症する怖さです。酷いと学校にも通えなくなる事例も有ると知り、自分や家族が発症したらと考えました。その原因となる化学物質は、衣類のポリウレタンや洗剤の中の「マイク

ロカブセル」等よく見る商品にも関係しているとの事。よってこれからは、水や食物に気を配る様に、身近な人の健康を守る為にも「空気」に影響を及ぼしにくい物を知り、選ぶ事も大事なのではないかと気付かされる講演会でした。



辻堂 青少年愛だより

編集・発行
辻堂地区青少年育成協力会
事務局
辻堂市民センター
TEL(34)8661

地区の校長先生のごあいさつ

「令和3年度新任の校長あいさつ」

高浜中学校長 三浦 孝一

はじめまして、昨年4月に着任致しました高浜中学校校長の三浦孝一と申します。藤沢市立六会中学校に新採用教員として採用後御所見中学校、大庭中学校、善行中学校、湘南台中学校、大清水中学校と、J.Rより北の学校ばかり勤めてまいりました。今回縁がありまして辻堂地区の高浜中学校に赴任しましたこと、大変嬉しく思っております。熱心に子どもたちの育成に尽力されているこの辻堂地区で、私も微力ながら子どもたちの健全育成に努めてまいります。

また、コロナ禍のため、地域の皆様に教育活動を公開することがままならず、申し訳ありません。収束の際にはぜひお運びいただき、高浜中の子どもたちの活発な姿をご覧いただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

「辻堂を想つ」

湘洋中学校長 小嶋 文典

湘洋中学校の教頭時代から含めると、途中六会中学校へ2年間の異動がありましたが、辻堂地区の生活も今年度7年目を迎えています。コロナ禍にもかかわらず、地域や保護者の多くの方々にお声をかけていただき、嬉しく感じると同時に身の引き締まる思いです。

温暖で過ごしやすく、多くの子どもたちがサーフィンやフラダンスに興じているこの地域の自由な雰囲気は本当に素敵だと感じています。現在通学している子どもたちが大人へと成長した時に、「辻堂を愛する」「地元を大切に思う」気持ちをいつまでも持ち続ける、そんな子どもたちに成長してもらいたいと願っています。その道筋に少しでもお力になればと思います。よろしくお願いいたします。

「地域の温かなご支援に感謝」

八松小学校長 瀧谷 典子

今年度、八松小学校校長に着任しました。

辻堂地区青少年育成協力会の皆様、青少年指導員の皆様、大変お世話になっております。

私は以前、辻堂地区の小学校の教員として勤めていました。その当時、地域の人々が子どもたちや学校を大らかに、温かな眼差しで見守ってくださりました。たくさんの楽しい思い出がよみがえってきます。

そして、八松小学校に着任してからも地域の皆様からたくさんのご協力、ご支援をいただいております。ありがとうございます。学校と保護者の皆様と地域の皆様がチームとなり、共に手を取り合つて、子どもたちが安心して登校できる環境づくりや子どもたちが幸せに生きていくことができる力を育ていけるように力を尽くしてまいります。

「青少年指導員の活動報告」

青少年指導員は、青少年の非行防止推進を目的としたパトロール等を主とする「街頭指導部会」と、工作・伝承事業等の体験活動を通して青少年の健全育成に取り組んでいる「育成部会」で成り立っています。

パトロールは月2回、通学路や公園を中心に、子どもたちの様子を観察しつつ声かけを行っています。

体験活動については、感染予防対策を十分に行いつつ、いくつか開催することができました。

○夏休み工作教室 ○芋ほり
○クリスマスのおどい ○初笑い
子どもたちを取り巻く様々な問題から、子どもたちが安心して成長できるよう活動を続けてまいります。

事業報告

- 定期総会(5月12日)書面による審査に変更
- 藤沢市子ども支援イベント(5月5日)中止
- 視察研修会 中止
- 情報交換会(7月13日)
- 「しっかり手洗い With コロナ」
藤沢市保健センター職員
- 夜間パトロール(7月)
- 辻堂諏訪大社の祭礼中止に伴い中止
- 公民館まつり中止に伴い、模擬店出店中止
- 講演会(2月20日)
- 「くっきの授業」
(化学物質過敏症(CS)とはなんだろう?)
講師 柳沢 幸雄氏
- 「青少年愛だより第34号」の発行
- 役員会 年6回開催
- 各種団体会議
- 学校・家庭・地域連携推進事業、
砂山・辻堂児童館、八松子ども家、
公民館まつり、辻堂まつりづくり会議等
- 各種街頭キャンペーン 中止
- 藤沢市青少年育成協議会 会議



